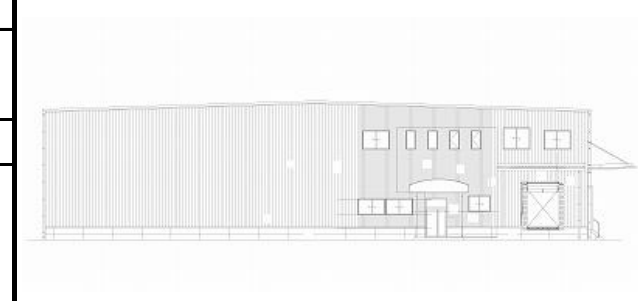
CASBEE®熊本《新築》【 性能表示 】

■ 建物概要

建物名称	㈱佐々木冷菓　南熊本営業所新築工	階数	地上2F
建設地	熊本市南区城南町今吉野字東原12	構造	S造
用途地域	第1種住居地域、指定なし	平均居住人員	0 人
気候区分	6地域	年間使用時間	0 時間/年
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年4月　　予定	評価の実施日	2017年11月13日
敷地面積	4,329 ㎡	作成者	吉永　拓郎
建築面積	1,291 ㎡	確認日	2017年11月14日
延床面積	2,314 ㎡	確認者	伊東　正太朗

■ 外観



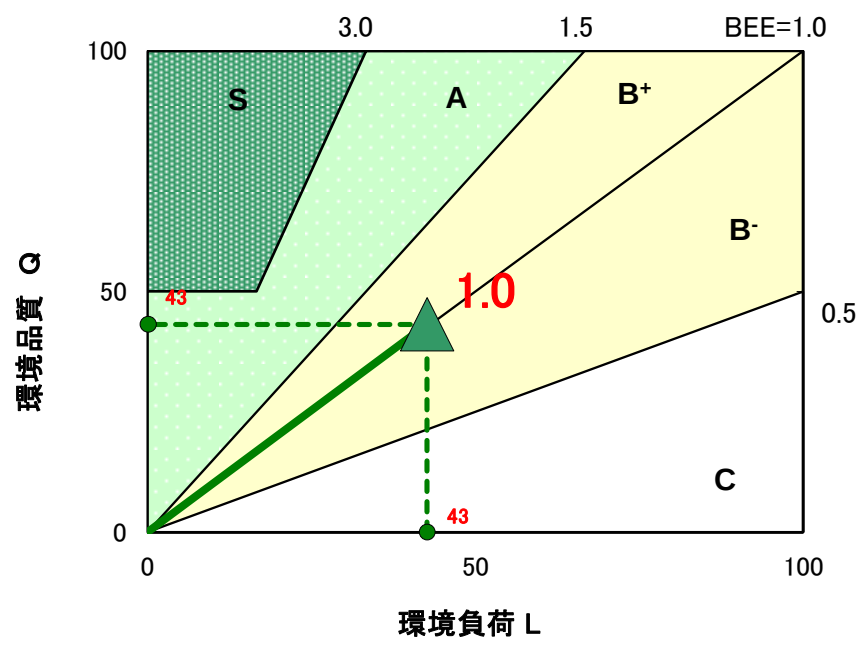
1 CASBEE評価結果

■ 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

★★★☆☆

BEE = 1.0

■BEE(環境効率) = Q(環境品質) / L(環境負荷)



■環境効率評価基準

ランク	ランク表示	評価	判定値	
			BEE値	Q値
S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上
A	★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	―
B+	★★★	良い	1.0以上1.5未満	―
B-	★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	―
C	★	劣る	0.5未満	―

■ライフサイクルCO_2 排出性能評価基準

判定値(排出率)	ランク表示
30%以下	☆☆☆☆☆
30%超60%以下	☆☆☆☆
60%超80%以下	☆☆☆
80%超100%以下	☆☆
100%超	☆

■ ライフサイクルCO_2排出性能(ランク表示)

☆☆

排出率
84%

2 熊本県重点評価結果

■ 重点事項総合評価

評価点
78

	評価点
【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進	82.2
【重点事項2】 安全安心で暮らしやすい社会の実現	62.5
【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全	82.5
【重点事項4】 循環型社会の実現	82.5

■熊本県重点評価基準

判定値(評価点)	ランク表示
100点以上	
80点以上100点未満	
60点以上80点未満	
40点以上60点未満	
40点未満	

※評価点は、100点以上が推奨です。

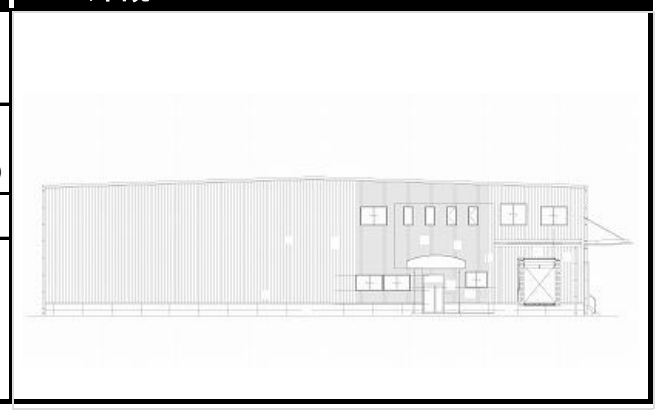
CASBEE®-建築(新築)　評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版　使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要

建物名称	㈱佐々木冷菓　南熊本営業所新築	階数	地上2F
建設地	熊本市南区城南町今吉野字東原12	構造	S造
用途地域	第1種住居地域、指定なし	平均居住人員	30 人
地域区分	6地域	年間使用時間	5,000 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年4月　予定	評価の実施日	2017年11月13日
敷地面積	4,329 ㎡	作成者	吉永　拓郎
建築面積	1,291 ㎡	確認日	2017年11月14日
延床面積	2,314 ㎡	確認者	伊東　正太朗

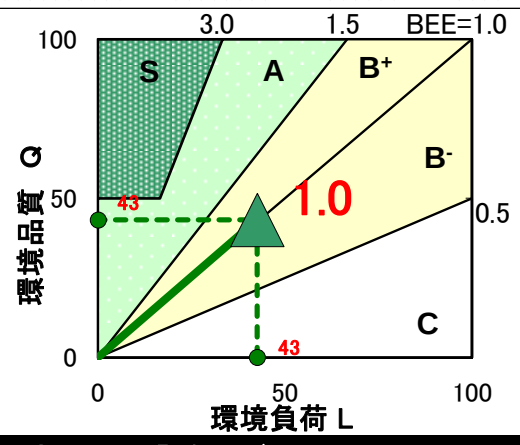
1-2 外観



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート

BEE =1.0

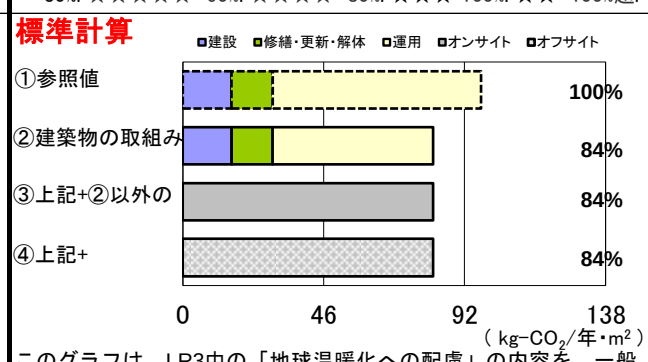
S: ★★★★★　A: ★★★★　B+: ★★★　B-: ★★　C: ★



2-2 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

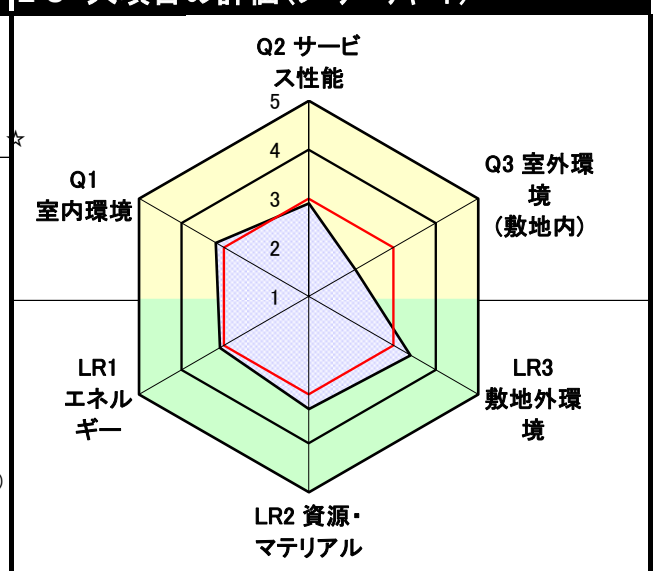
30%: ☆☆☆☆☆　60%: ☆☆☆☆　80%: ☆☆☆　100%: ☆☆　100%超: ☆

標準計算



このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

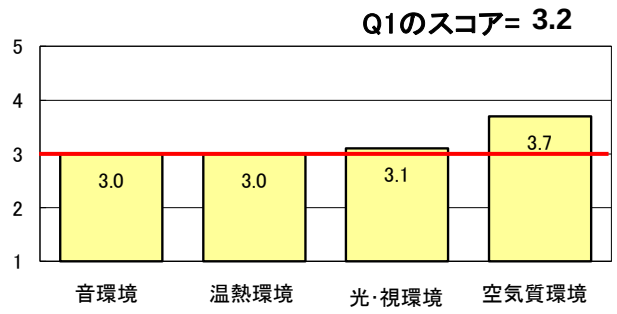
2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



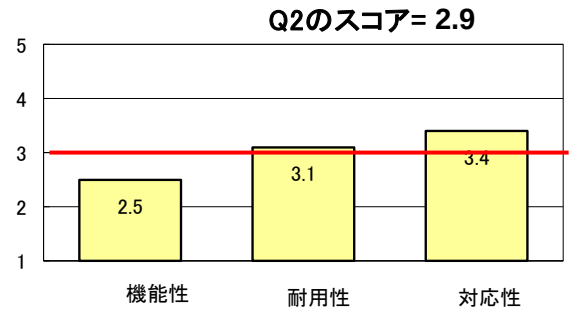
2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質　　Q のスコア= 2.7

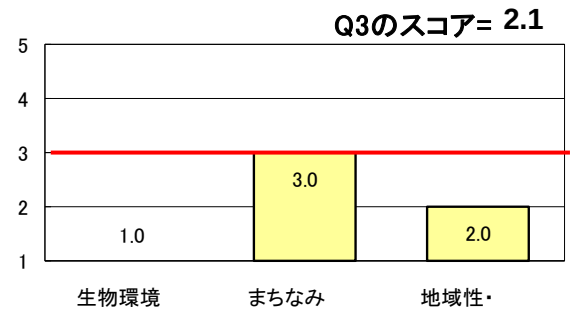
Q1 室内環境　Q1のスコア= 3.2



Q2 サービス性能　Q2のスコア= 2.9

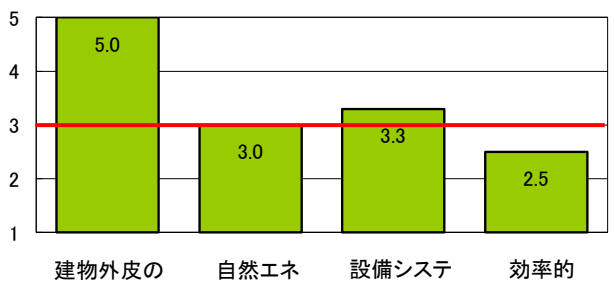


Q3 室外環境(敷地内)　Q3のスコア= 2.1

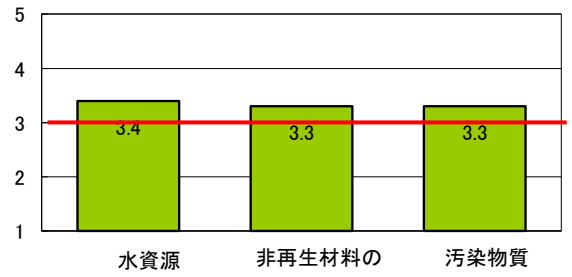


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 3.2

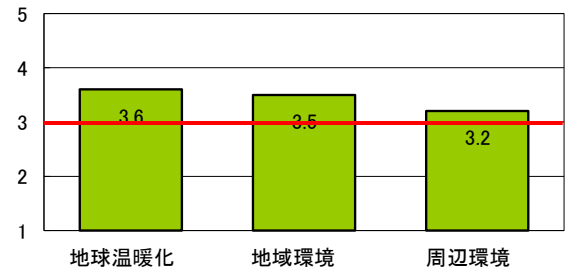
LR1 エネルギー　LR1のスコア= 3.1



LR2 資源・マテリアル　LR2のスコア= 3.3



LR3 敷地外環境　LR3のスコア=3.4



3 設計上の配慮事項

重点事項総合評価

評価点 = 78

重点事項1:温室効果ガス排出量削減の推進

評価点 = 82.2

重点事項2:安全安心で暮らしやすい社会の実現

評価点 =62.5

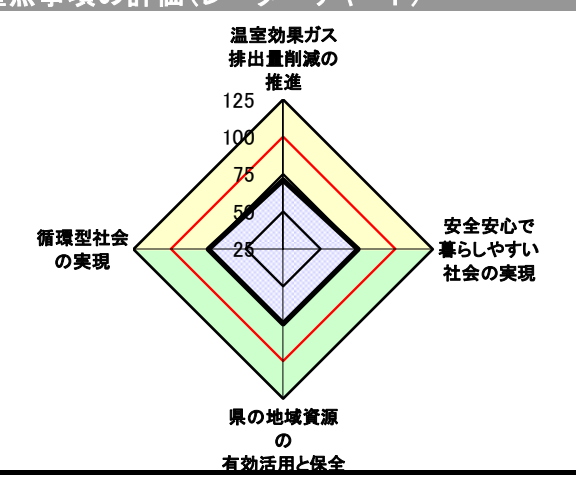
重点事項3:県の地域資源の有効活用と保全

評価点 = 82.5

重点事項4:循環型社会の実現

評価点 =82.5

重点事項の評価(レーダーチャート)



■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版
㈱佐々木冷菓　南熊本営業所新築工事

■使用評価マニュアル　CASBEE-建築(新築)2016年版
■評価ソフト:　CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

（　　）欄に数値またはコメントを記入

スコアシート　　実施設計段階

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q　建築物の環境品質						**2.7**
Q1　室内環境			**0.32**		**-**	**3.2**
1 音環境		**3.0**	0.15	-	-	**3.0**
1.1 室内騒音レベル		**3.0**	0.40	-	-	
1.2 遮音		**3.0**	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能		3.0	0.60	-	-	
2 界壁遮音性能		3.0	0.40	-	-	
3 界床遮音性能（軽量衝撃源）		-	-	-	-	
4 界床遮音性能（重量衝撃源）		-	-	-	-	
1.3 吸音		**3.0**	0.20	-	-	
2 温熱環境		**3.0**	0.35	-	-	**3.0**
2.1 室温制御		**3.0**	0.50	-	-	
1 室温		3.0	0.38	-	-	
2 外皮性能		3.0	0.25	-	-	
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38	-	-	
2.2 湿度制御		**3.0**	0.20	-	-	
2.3 空調方式		3.0	0.30	-	-	
3 光・視環境		**3.1**	0.25	-	-	**3.1**
3.1 昼光利用		**3.6**	0.30	-	-	
1 昼光率	【事務所】2階事務室：2.4%	4.0	0.60	-	-	
2 方位別開口		-	-	3.0	-	
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	-	
3.2 グレア対策		**3.0**	0.30	-	-	
1 昼光制御		3.0	1.00	3.0	-	
3.3 照度		**3.0**	0.15	3.0	-	
3.4 照明制御		**3.0**	0.25	-	-	
4 空気質環境		**3.7**	0.25	-	-	**3.7**
4.1 発生源対策		**4.0**	0.50	-	-	
1 化学汚染物質	【事務所】F☆☆☆☆の採用	4.0	1.00	-	-	
4.2 換気		**3.0**	0.30	-	-	
1 換気量		3.0	0.33	-	-	
2 自然換気性能	【事務所】0.67（1/15以上）	5.0	0.33	-	-	
3 取り入れ外気への配慮		1.0	0.33	-	-	
4.3 運用管理		**4.0**	0.20	-	-	
1 CO_2の監視		3.0	0.50	-	-	
2 喫煙の制御	【事務所】建物全体が禁煙、喫煙室なし	5.0	0.50	-	-	
Q2　サービス性能		－	**0.30**	**-**	**-**	**2.9**
1 機能性		**2.5**	0.40	-	-	**2.5**
1.1 機能性・使いやすさ		**2.3**	0.40	-	-	
1 広さ・収納性		3.0	0.33	-	-	
2 高度情報通信設備対応		1.0	0.33	-	-	
3 バリアフリー計画		3.0	0.33	-	-	
1.2 心理性・快適性		**2.3**	0.30	-	-	
1 広さ感・景観	【事務所】天井高：2.7m	4.0	0.33	-	-	
2 リフレッシュスペース		2.0	0.33	-	-	
3 内装計画		1.0	0.33	-	-	
1.3 維持管理		**3.0**	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性		**3.1**	0.30	-	-	**3.1**
2.1 耐震・免震・制震・制振		**3.0**	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		**3.6**	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	【工場・事務所】ガルバリウム鋼板（25年）	4.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	【工場・事務所】給水管：B　汚水管・通気管：B	5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性		**2.8**	0.20	-	-	
1 空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
3 電気設備		3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備		2.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性			3.4	0.30	-	-	3.4
3.1 空間のゆとり			4.6	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	【工場】階高：平均値4.1m（レベル5） 【事務所】階高：基準階3.82m（レベル4）	5.0	0.60	-	-	
2	空間の形状・自由さ	【工場】比率：0.11（レベル4） 【事務所】比率：0.13（レベル4）	4.0	0.40	-	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	-	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境（敷地内）			–	0.38	-	-	2.1
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.0	0.30	-	-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-		-	3.2
LR1 エネルギー			–	0.40	-	-	3.1
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPIm0.74	5.0	0.04	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.12	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.77	3.3	0.60	-	-	3.3
4 効率的運用			2.5	0.24	-	-	2.5
集合住宅以外の評価			2.5	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		2.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		-	-	-	-	
4.2	運用管理体制		-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			–	0.30	-	-	3.3
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水		【工場・事務所】節水型器具の採用（グリーン購入適合品）	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.3	0.60	-	-	3.3
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		ー	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ	3.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		【工場・事務所】 ・軽鉄下地+仕上材 ・再利用できるユニット部材を使用（可動間仕切り）	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.20	-	-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.5	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤（断熱材等）	【工場・事務所】押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ（土間下）	4.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			–	0.30	-	-	3.4
1 地球温暖化への配慮		省エネ設備の導入	3.6	0.33	-	-	3.6
2 地域環境への配慮			3.5	0.33	-	-	3.5
2.1 大気汚染防止		【工場・事務所】燃焼機器使用なし	5.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	0.33	-	-	
2	振動		3.0	0.33	-	-	
3	悪臭		3.0	0.33	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-		
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	【工場・事務所】光害対策ガイドラインの項目の過半を満たす、広告物照明なし	5.0	0.70	-	-	
2	昼光の建物外壁による反射光（グレア）への対策		3.0	0.30	-	-	

CASBEE熊本《新築》【 配慮事項 】

4 設計上の配慮事項

総合

・外構設備等を敷地の見える道路から目立たない位置に設置し、緑地を配する事で、景観調和するように配慮した。

Q1 室内環境

・全館禁煙とする事で、室内の調気環境へ配慮した。

Q2 サービス性能

・居室となる部分は、ＣＨ＝2700を基本とし、圧迫感を持ちにくい造りとした。また、来客者に速やかに対応できる様、会議室の位置等を入口付近に配置した。

Q3 室外環境（敷地内）

・敷地内に緑地を設ける事で、暑熱環境に配慮した。車が多く出入りする為、人と接近しすぎないよう敷地を十分確保するように配慮した。

LR1 エネルギー

・冷凍・冷蔵倉庫を除く事務所部分には、外壁材に裏打材を見込む等、遮熱性を高めるよう配慮した。

LR2 資源・マテリアル

・井戸の開発を行い、水源確保に配慮した。

LR3 敷地外環境

・適切な数の駐車駐輪スペースを計画し、出入口附近での車両の軌跡検討を行い、周辺の交通負荷軽減に配慮した。

その他

熊本県重点評価結果スコアシート　実施設計段階

建物名称	㈱佐々木冷菓　南熊本営業所新築工事

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)　■使用評価マニュアル: CASBEE熊本《新築》2017年版

★熊本県重点評価結果					総合評価点	78
重点事項	重点項目(配慮項目)	スコア	重み係数	評価点	重点事項重み係数	評価配点
① 温室効果ガス排出量削減の推進				82.2	0.40	32.88
	Q1-2.1.2 外皮性能	3.0	0.05			
	Q1-3.1.3 昼光利用設備	3.0	0.05			
	Q1-3.2.1 昼光制御	3.0	0.05			
	LR1-1 建物外皮の熱負荷抑制	5.0	0.15			
	LR1-2 自然エネルギー利用	3.0	0.20			
	LR1-3 設備システムの高効率化	3.3	0.30			
	LR2-2.1 材料使用量の削減	2.0	0.10			
	LR3-2.3.3 交通負荷抑制	3.0	0.10			
② 安全安心で暮らしやすい社会の実現				62.5	0.20	12.50
	Q2-1.1.3 バリアフリー計画	3.0	0.25			
	Q2-2.1.1 耐震性	3.0	0.25			
	Q3-1 生物環境の保全と創出	1.0	0.15			
	Q3-3 地域性・アメニティへの配慮	2.0	0.20			
	LR3-2.2 温熱環境悪化の改善	3.0	0.15			
③ 県の地域資源の有効活用と保全				82.5	0.20	16.50
	Q3-2 まちなみ・景観への配慮	3.0	0.20			
	LR2-1.1 節水	4.0	0.30			
	LR2-1.2.1 雨水利用システム導入	3.0	0.20			
	LR2-2.5 持続可能な森林から産出された木材	3.0	0.30			
④ 循環型社会の実現				82.5	0.20	16.50
	Q2-2.2 部品・部材の耐用年数	3.6	0.30			
	Q2-3 対応性・更新性	3.4	0.30			
	LR2-2.2 既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10			
	LR2-2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			
	LR2-2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			

■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

◆総合評価結果

総合評価点　＝　(各重点事項の評価点×各重点事項の重み係数)の総和

※重み係数の総和は、「1」であること。

◆各重点事項(①～④の項目)

評価点　＝　(各重点項目のスコア×各重点項目の重み係数)の総和×(5/4)×20

※重み係数の総和は、「1」であること。

※(5/4)×20 : スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数